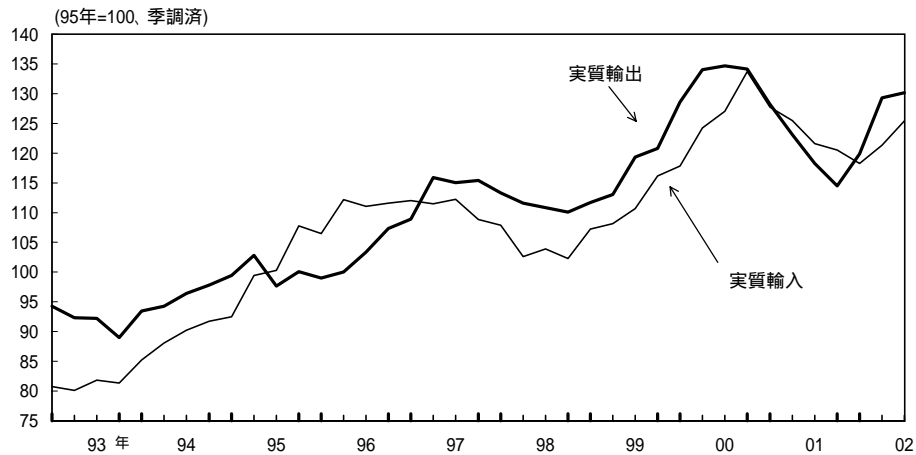


(図表1 - 1) 我国の輸出・生産等の動向

(1) 実質輸出入

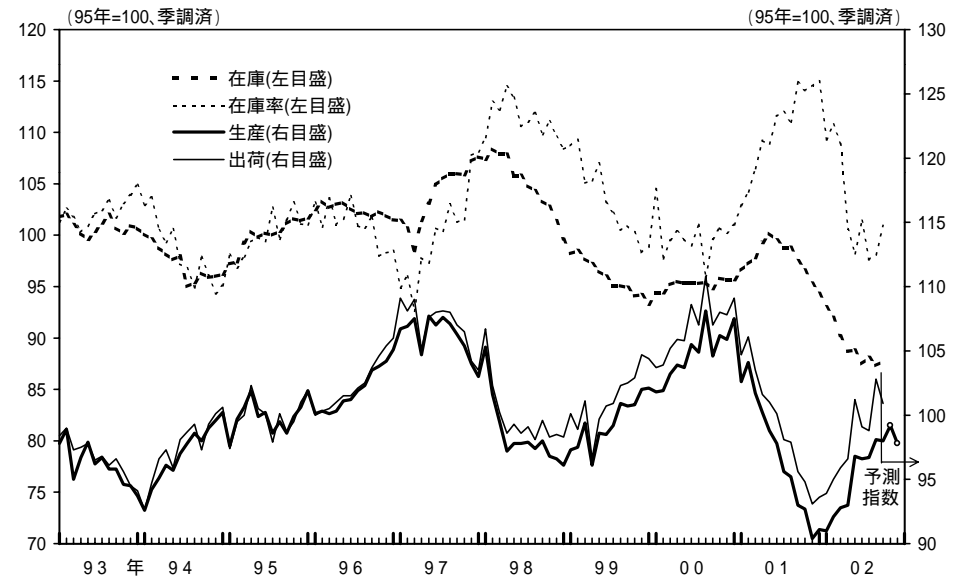


(2) 実質輸出の内訳

		(前年比、%)		(季調済前期比、%)						(季調済前月比、%)		
		暦年		2001年		2002			2002年			
		2000	2001	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	7月	8	9	
中間財	<14.7>	5.3	-3.5	0.1	2.1	5.6	3.7	0.1	1.9	-4.1	-2.6	
自動車関連	<22.1>	9.2	0.0	2.0	1.1	5.8	4.2	-0.5	5.6	-8.4	5.6	
消費財	<7.3>	13.0	-6.3	-1.6	-5.8	4.5	8.6	2.2	3.3	-5.3	-5.6	
情報関連	<17.3>	25.2	-12.0	-7.5	-7.3	-5.9	17.0	8.6	1.2	4.9	-3.5	
資本財・部品	<27.5>	21.1	-14.9	-6.3	-5.0	6.2	9.2	2.4	-2.0	-1.9	2.5	
実質輸出計		14.1	-9.1	-3.9	-3.2	4.7	7.8	0.7	0.6	-2.9	-1.1	

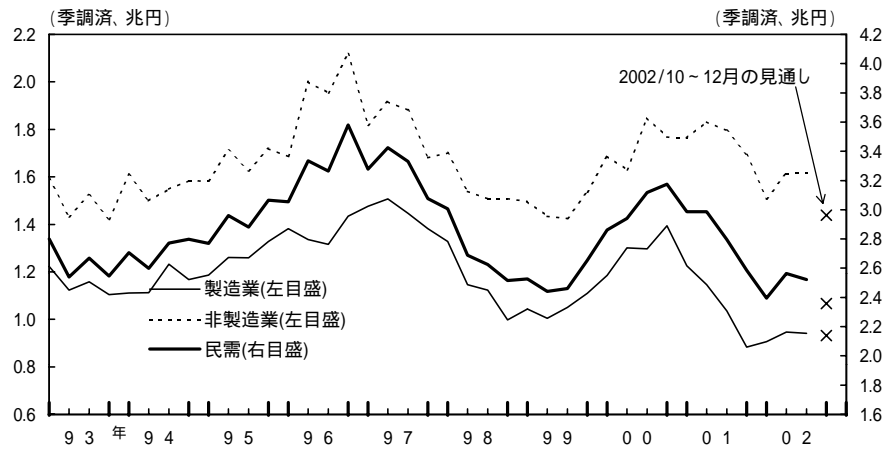
資料：財務省、日本銀行

(3) 鉱工業生産・出荷・在庫



(図表 1 - 2) 我国の輸出・生産等の動向

(4) 機械受注



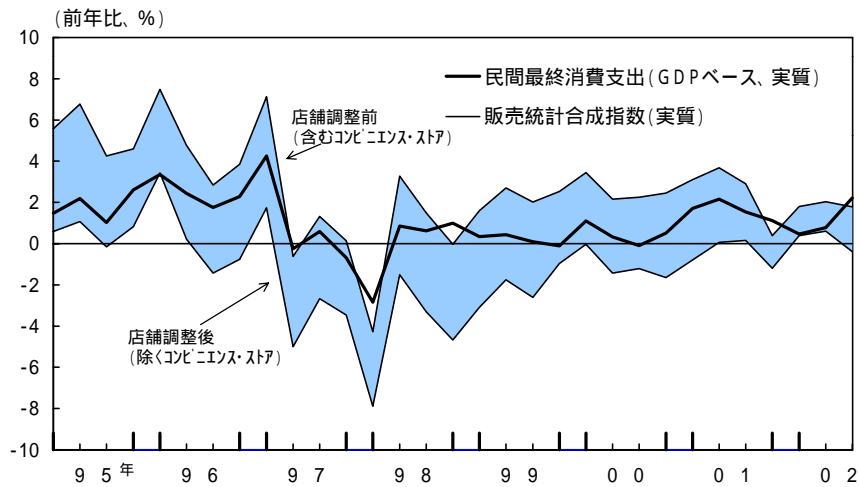
資料：内閣府

(6) 雇用者所得の推移



資料：厚生労働省

(5) 個人消費関連指標 (販売統計合成指数)



資料：内閣府ほか

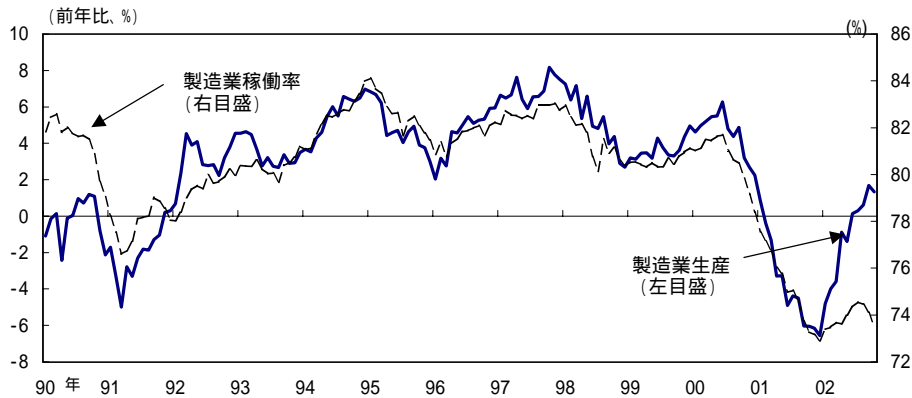
(図表 2 - 1) 米国の生産等の動向

(1) 生産

	2000年	2001年	2002年			2002年			
			1Q	2Q	3Q	7月	8月	9月	10月
ISM (米供給管理協会) 指数 - 製造業	51.6	43.9	53.4	55.3	50.2	50.5	50.5	49.5	48.5
同 - 非製造業	59.2	49.0	55.2	57.5	52.6	53.1	50.9	53.9	53.1
鉱工業生産 <前期比、%>			0.7	1.0	0.9	0.5	0.2	0.2	0.8
うち自動車 <寄与度、%>			0.4	0.3	0.4	0.3	0.0	0.1	0.4
うち自動車以外 <寄与度、%>			0.3	0.7	0.5	0.2	0.2	0.1	0.4
(前年比、%)	4.5	3.9	4.1	0.7	0.9	0.3	0.6	1.7	1.3
製造業稼働率(%)	80.7	75.1	73.5	74.0	74.4	74.6	74.5	74.1	73.5
製造業受注 <前期比、%>			0.3	0.8	1.8	4.4	0.4	2.3	n.a.
(前年比、%)	5.3	7.4	5.6	1.8	2.6	3.3	1.1	3.5	

資料：ISM、FRB、米国商務省

(2) 製造業生産、稼働率



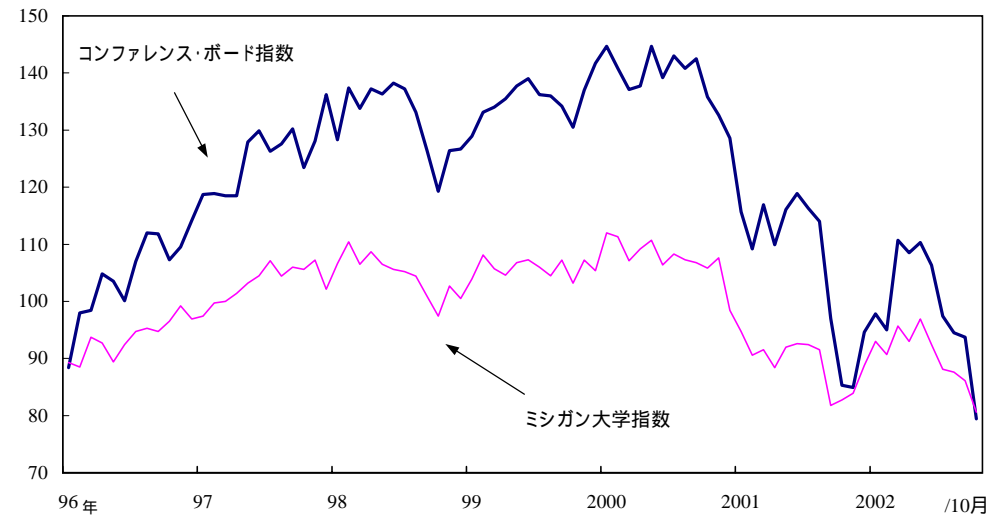
資料：FRB

(3) 非国防資本財受注 (除く航空機)

	2000年	2001年	2002年			2002年			
			1Q	2Q	3Q	7月	8月	9月	10月
非国防資本財受注 (除く航空機) <前期比、%>			1.0	0.8	0.1	6.7	1.4	4.3	n.a.
(前年比、%)	6.0	14.5	14.8	5.5	0.8	0.3	0.2	1.6	

資料：米国商務省

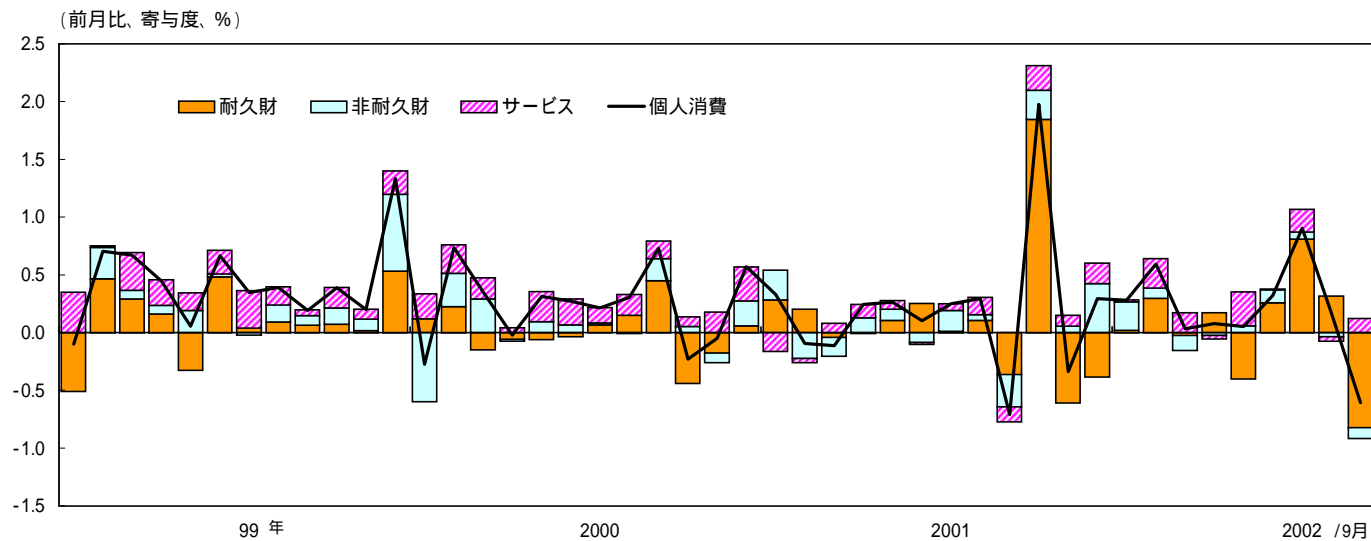
(4) 消費者コンフィデンス



(注) コンファレンス・ボード指数は、1985年=100、ミシガン大学指数は、1966/1Q=100。
資料：コンファレンス・ボード、ミシガン大学

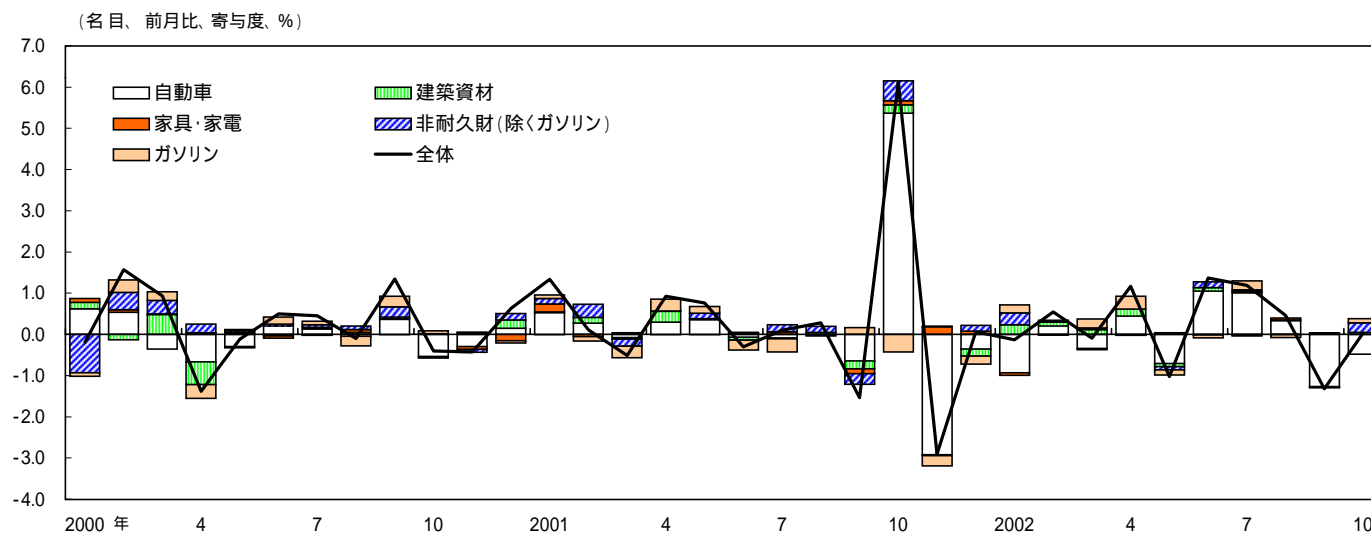
(図表 2 - 2) 米国の生産等の動向

(5) 実質個人消費



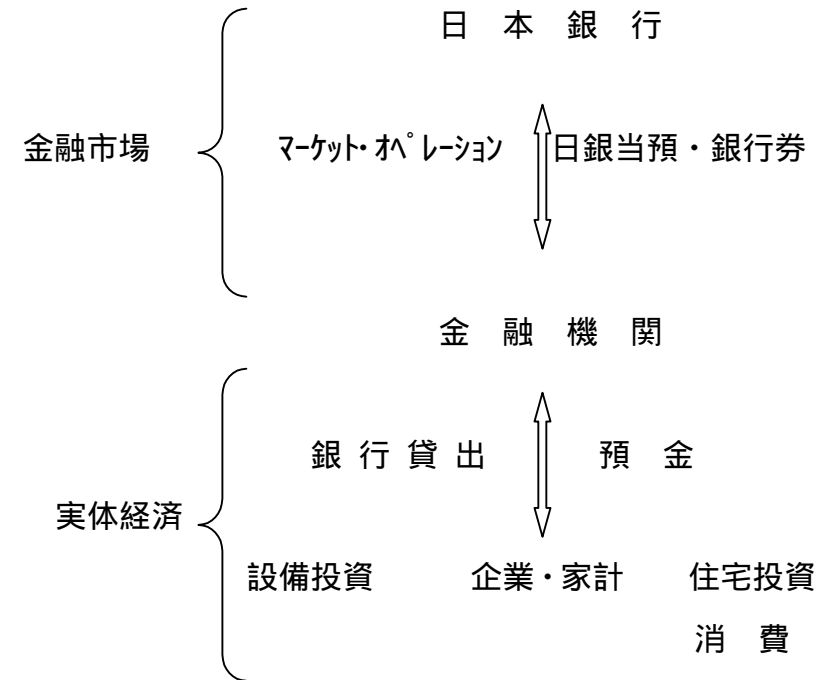
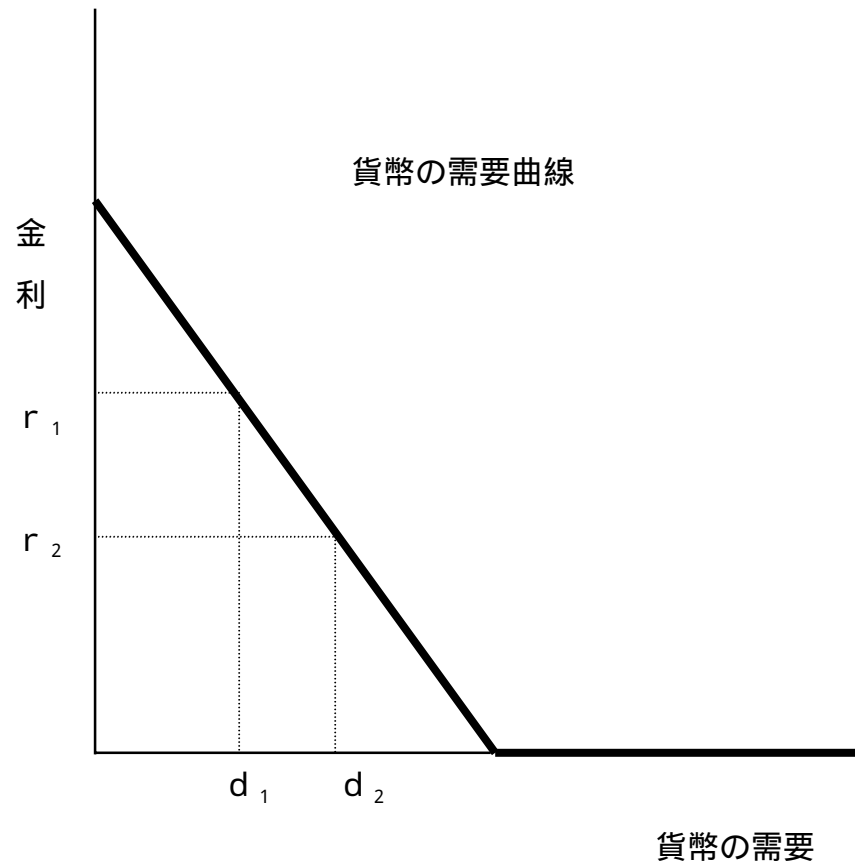
資料：米国商務省

(6) 小売売上高

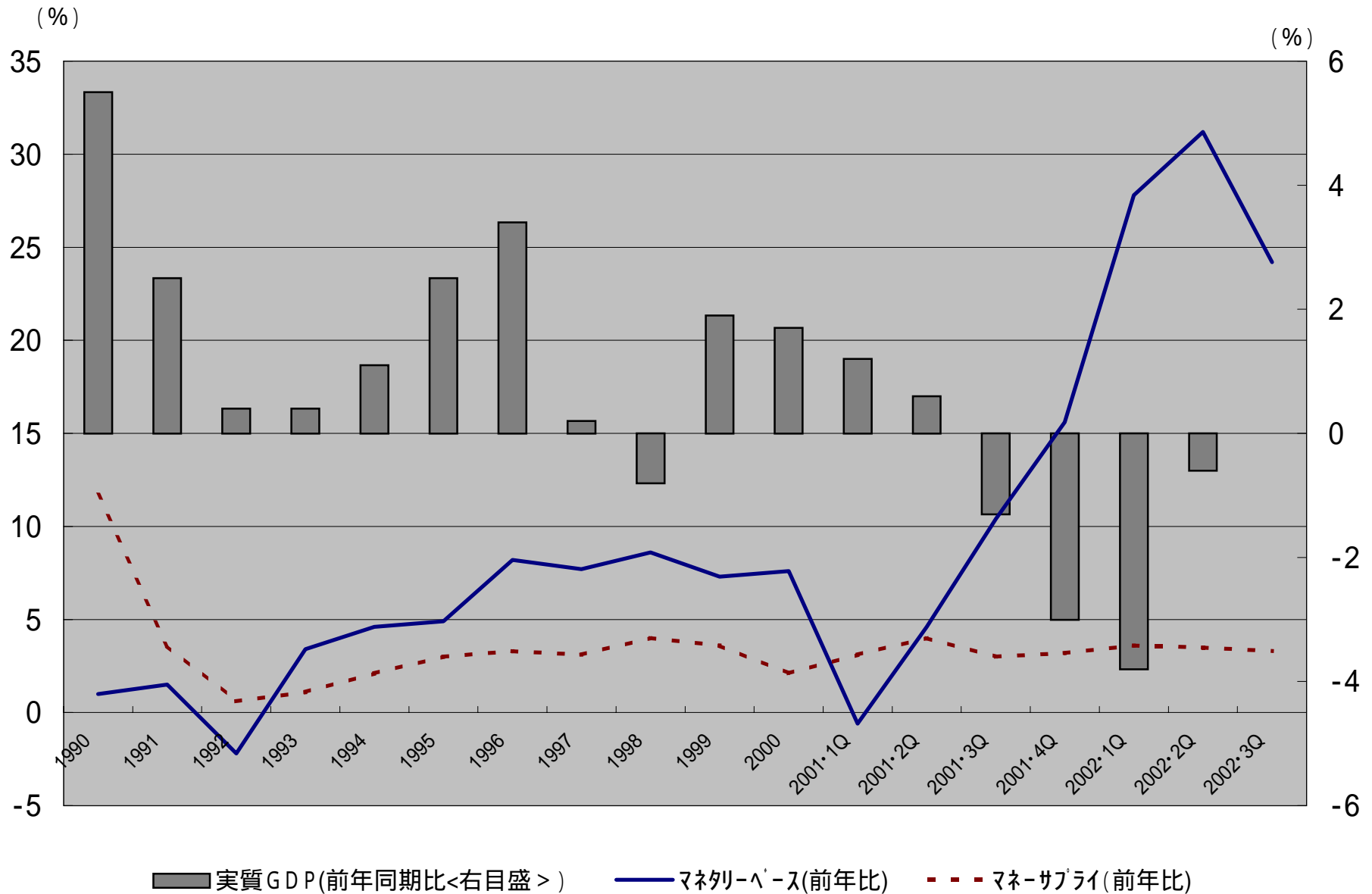


資料：米国商務省

(図表 3) 貨幣需要と資金循環



(図表4) マネーの動きと実質GDP



資料：日本銀行、内閣府

(図表5) 労働分配率の推移

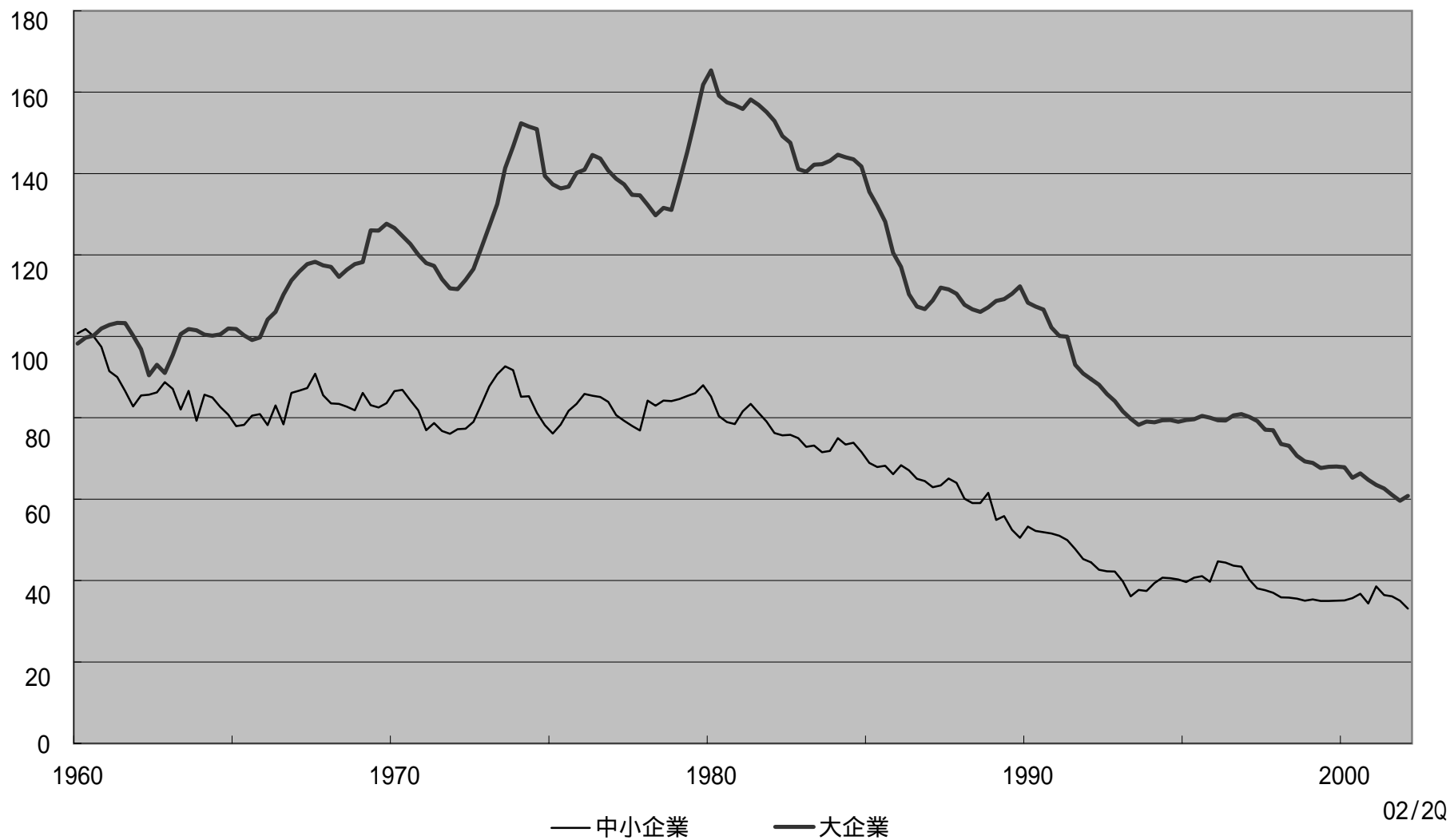
(付加価値総額 = 1、季調済)



資料：財務省

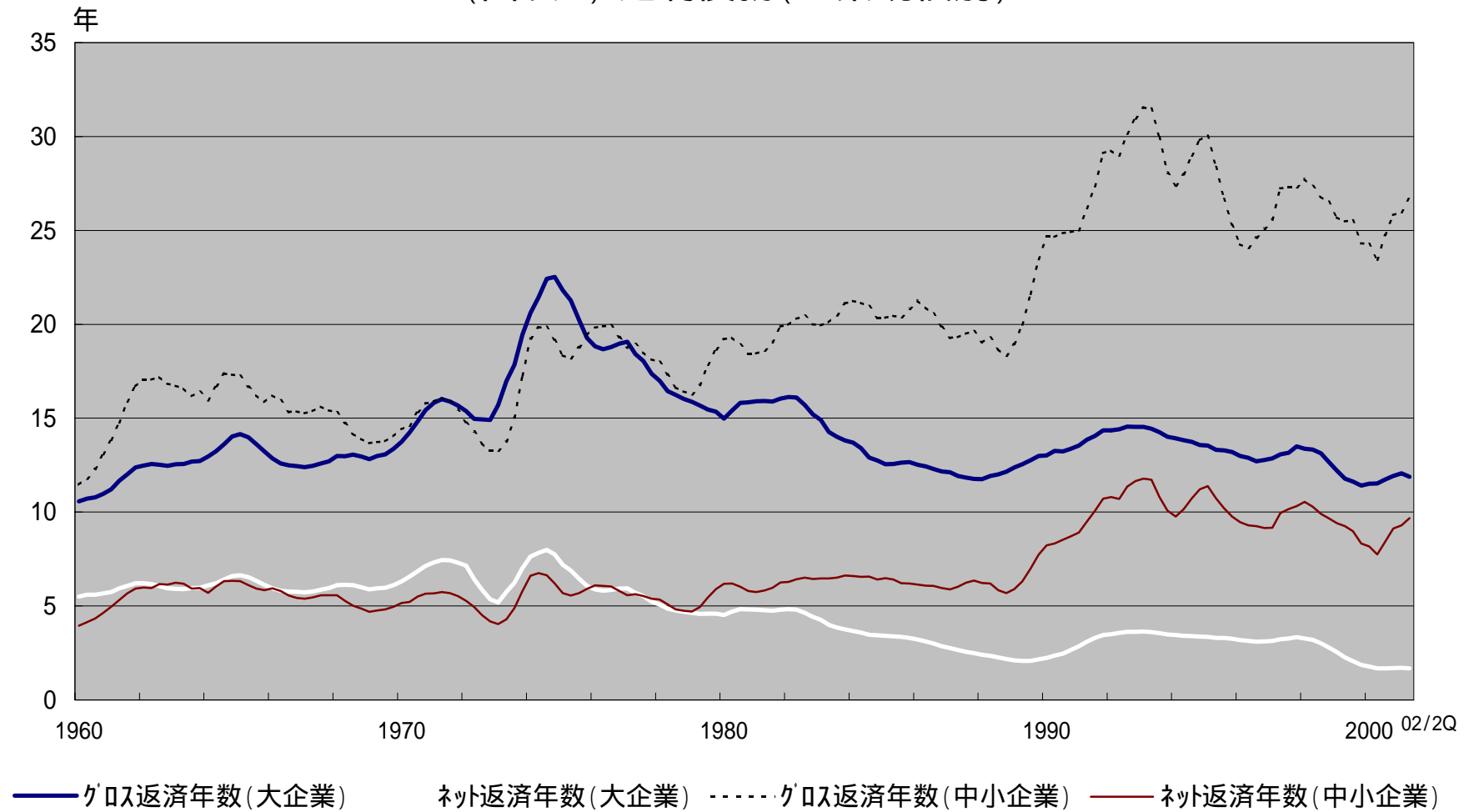
(図表 6) 固定資産対売上高比率 (売上高 / 固定資産)

(1960F.Y.=100、季調済)



資料：財務省

(図表7) 過剰債務(企業規模別)



* グロス返済年数は、総債務を年間のキャッシュ・フローで返済した場合にかかる年数。

** ネット返済年数は、純債務(総債務 - 金融資産)を年間のキャッシュ・フローで返済した場合にかかる年数。

(図表8) 不良債権処理額等の推移(全国銀行)

(単位:億円)

	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	4年度以降累計
不良債権額	285,043	217,890	297,580	296,270	303,660	325,150	420,280	—
不良債権処分損	133,692	77,634	132,583	136,309	69,441	61,076	97,221	815,398
貸倒引当金繰入額	70,873	34,473	84,025	81,181	25,313	27,319	51,959	410,074
直接償却等	59,802	43,158	39,927	47,093	38,646	30,317	39,745	351,908
貸出金償却	17,213	9,730	8,506	23,772	18,807	25,202	32,042	146,730
共同債権買取機構への売却損	25,261	11,330	10,434	3,590	2,783	1,630	1,383	98,173
バルクセールによる売却損等	17,328	22,098	20,987	19,731	17,056	3,886	6,320	107,406
その他	3,017	3	8,631	8,035	5,482	3,040	5,517	53,016

	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	4年度以降累計*
金銭贈与額	4,730	1,170	806	19,364	40,061	44,622	10,406	121,159
資産買取額			2,083	24,119	10,974	4,778	2,263	44,217
公的資本注入額			18,156	74,592	5,750	3,870	1,840	104,208

不良債権処理総コスト(+ + +)	138,422	78,804	153,628	254,384	126,226	114,346	111,730	1,084,982
4年度以降の累計	245,864	324,668	478,296	732,680	858,906	973,252	1,084,982	

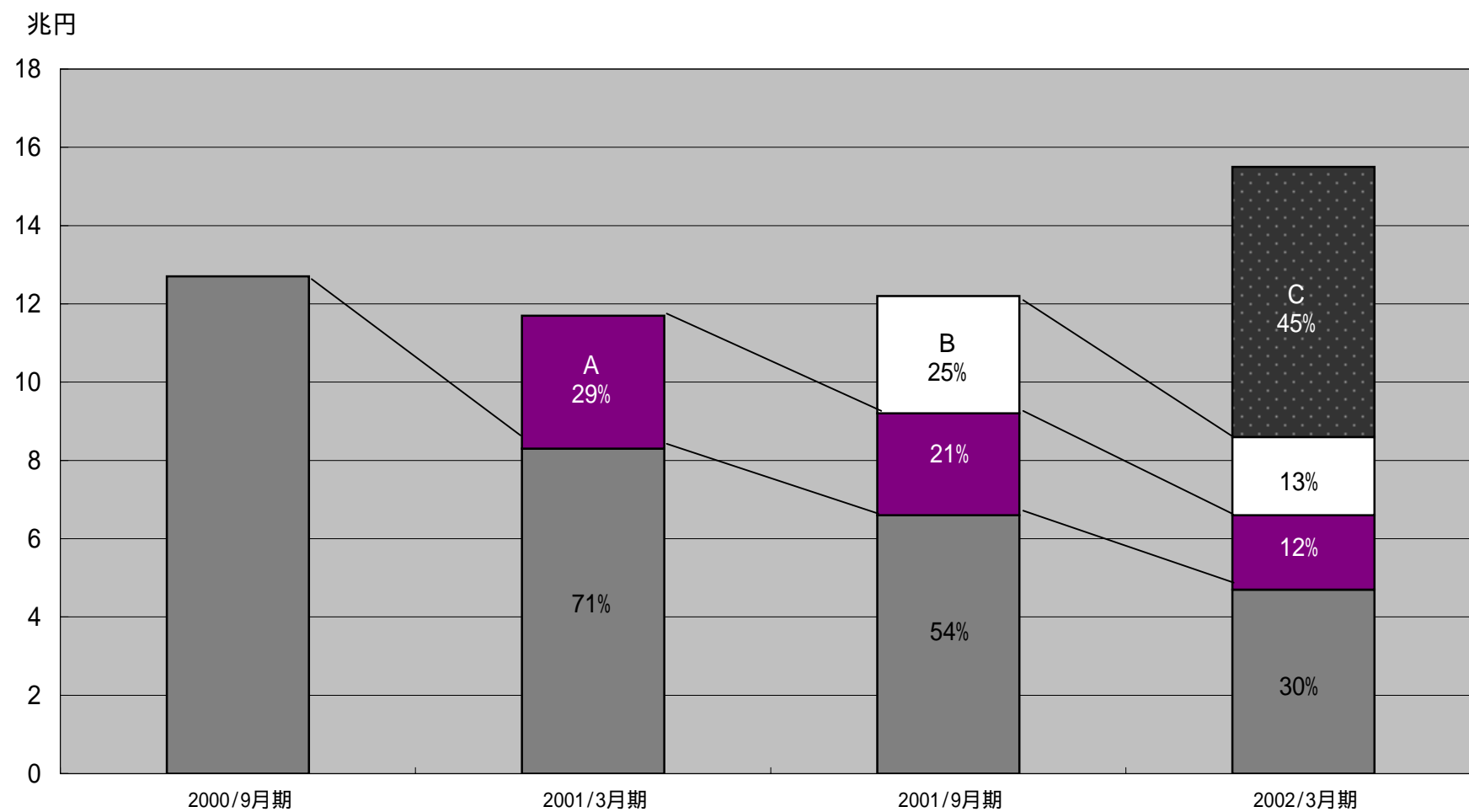
* 6年度以前は都長信のみ。

資料: 金融庁、預金保険機構等

(図表9) 国内銀行の支店、役員、従業員数

	支店数	役員数	従業員数
1989	16,247 店	2,994 人	439,332 人
1990	16,596	3,068	441,910
1991	16,977	3,052	450,920
1992	17,141	3,032	457,117
1993	17,159	3,031	462,759
1994	17,157	3,123	457,677
1995	16,954	3,074	442,393
1996	16,728	2,991	424,000
1997	16,521	2,908	405,599
1998	15,861	2,595	383,088
1999	15,302	2,303	366,356
2000	15,315	2,088	352,805
2001	14,952	1,907	332,730

(図表10) 不良債権の発生動向



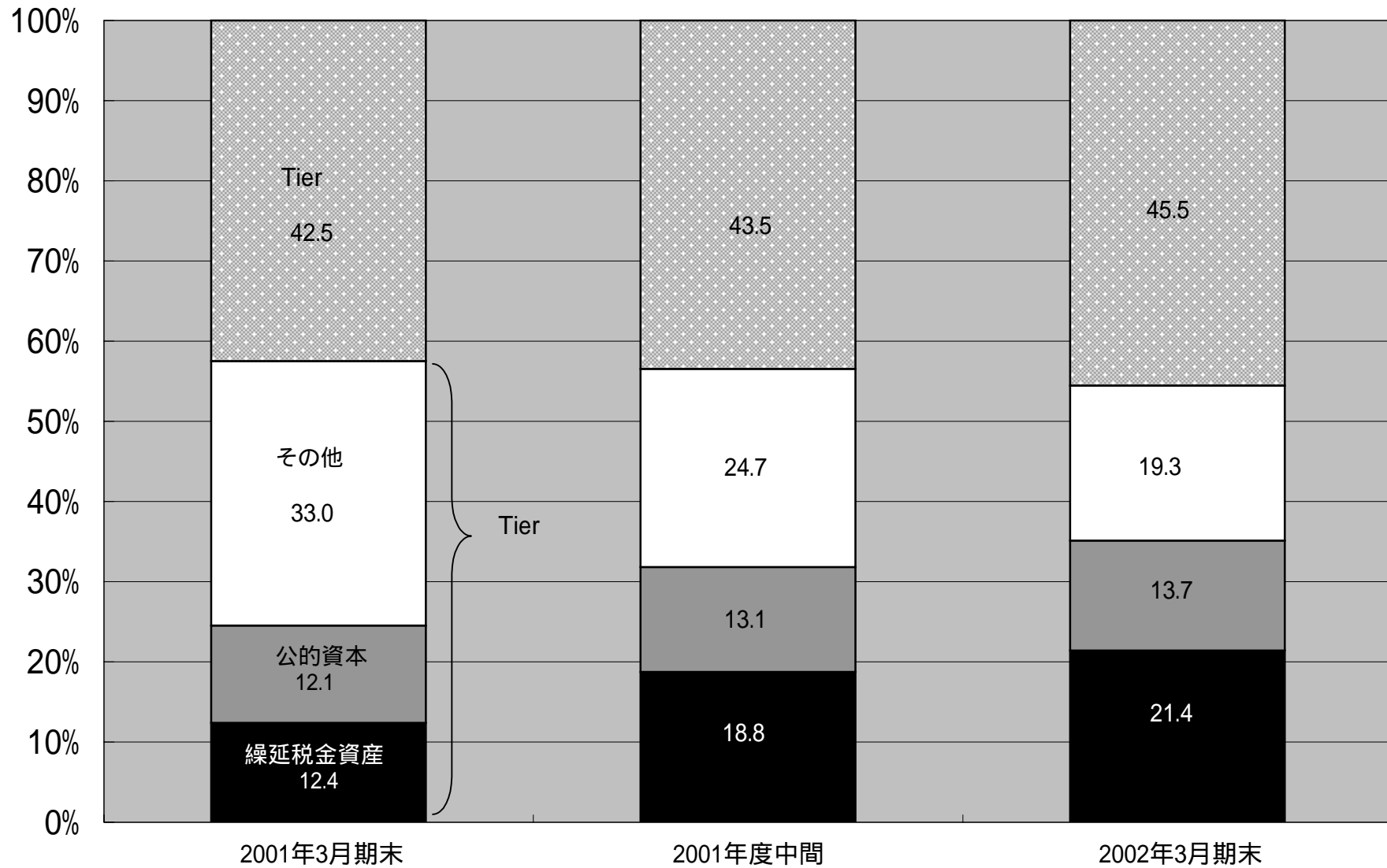
A : 2001/3月期発生分

B : 2001/9月期発生分

C : 2002/3月期発生分

資料 : 日本銀行

(図表11) 自己資本の内訳



資料：日本銀行